

# 平成24年度事業報告

## 1. 調査事業

### (1) 自主事業

- ・市内鉄道遺産調査[堀勇良委員、小野田滋(鉄道総研)、小田嶋鉄朗、米山淳一]

・・・概要 No. 1

### (2) 受託事業

#### ① 歴史的建造物保全に関する活用計画案策定業務 \*

##### ■ 歴史的建造物台帳に関する調査

・・・概要 No. 2

##### ■ 詳細調査

- ・Y 邸 [内田青蔵]

・・・概要 No. 3

- ・山手 26 番館 [関和明+山手 26 番館調査団]

・・・概要 No. 4

##### ■ 保全活用方針の検討

- ・山手 124 番館(保全改修の手法検討)

・・・概要 No. 5

- ・海岸教会

・・・概要 No. 6

- ・北仲北地区

・・・概要 No. 7

- ・旧神奈川県産業組合館

・・・概要 No. 8

- ・本牧公園転車台

・・・概要 No. 9

##### ■ 保全活用計画案の策定

- ・旧住友邸俣野別邸

・・・概要 No. 10

- ・北仲北地区

・・・概要 No. 11

- ・旧神奈川県産業組合館

・・・概要 No. 12

- ・旧労働基準局

・・・概要 No. 13

#### ② 歴史を生かしたまちづくりに関する制度検討業務

・・・概要 No. 14

#### ③ 景観重要建造物モデル検討業務

・・・概要 No. 15

## 2. 普及啓発事業

### (1) 自主事業

#### ① 鉄道開通 140 周年記念シンポジウム

・・・概要 No. 16

#### ② コンサート in ヘリテージ「ピアノが案内する横浜の歴史とまち vol.2」

・・・概要 No. 17

#### ③ オープン・ヘリテージ in 旧保土ヶ谷宿【市と共催】

・・・概要 No. 18

#### ④ ホームページの運用

・・・概要 No. 19

#### ⑤ 刊行物の販売

・・・概要 No. 20

『都市の記憶－横浜の土木遺産』

『都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物』

### (2) 受託事業

#### ① 歴史を生かしたまちづくりセミナー(日吉の近代建築)\*

・・・概要 No. 21

#### ② 歴史を生かしたまちづくり新聞 27 号 編集\*

・・・概要 No. 22

### 3. 会員事業

- ①「ヨコハマヘリテイジサポートクラブ会員」の募集・管理 . . . 概要 No. 23
- ②会員向けメールマガジンの発行(毎月発行) . . . 概要 No. 24

「\*」は、いずれも「歴史的建造物保全に関する計画案策定及び広報普及業務委託」(横浜市都市デザイン室)による

---

### 4. その他

- 文化庁 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 . . . 概要 No. 25
- 「ヨコハマの近代建築資産の保存・活用によるまちの魅力づくり」

## 各事業概要

### 1. 調査事業

#### (1) 自主事業

NO.1	
事業名	市内鉄道遺産調査
テーマ	現況把握（2年目）
実施時期	平成24年5月～8月
実施場所	横浜市内
担当理事・社員等  （*外部協力者）	堀 勇良（理事） 小野田 滋（鉄道総研） 小田嶋 鉄朗（横浜市） 米山淳一（常務理事）
概要	<p>東海道本線横浜駅～大船駅間に残る明治期～昭和初期にかけての近代化遺産（鉄道遺産）現況調査を3回わたり踏査し、遺構を発見、確認した。</p> <p>特に戸塚～東戸塚間では、明治20年代に建造されたレンガ造の「清水谷戸トンネル」やレンガのアーチが美しい「和倉橋梁」は当時の様子を良くとどめておりしかも現役で立派に使用されている。</p> <p>今後、明治5年の開業当初から明治初期の遺構の発見に努めるとともに、臨海部の鉄道遺産調査を行う。</p>

(2) 受託事業

NO.2	
事業名	歴史的建造物保全に関する計画案策定及び広報普及業務 [歴史的建造物台帳に関する調査]
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史的建造物の登録候補の調査
担当理事・社員等 (*外部協力者)	
概要	歴史的建造物台帳に基づいて、登録候補の建造物について概況調査を行った。 古民家 須藤欣一家(長屋門) 近代建築 伊勢ビル、都南ビル、旧湘南電鉄瀬戸変電所、河村医院 西洋館 旧井上信道邸(アトリエ)、R邸、M邸、B邸、唐沢25番館

NO.3	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [詳細調査] Y邸
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史的建造物の詳細調査
担当理事・社員等 (*外部協力者)	内田 青蔵(社員) *神奈川大学内田研究室
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年12月 実測調査</li> <li>平成24年1月 聞き取り調査</li> <li>横浜市西区</li> <li>建築的価値を明らかにするための調査の一環として行われた。 実測調査及び図面作成を行った。</li> </ul>

NO.4	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [詳細調査] 山手26番館
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史的建造物の詳細調査
担当理事・社員等 (*外部協力者)	関 和明(理事) *山手26番館調査団
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年2月-3月</li> <li>現況と沿革、歴史的建造物としての価値を明らかにすることを目的に実測調査、関係資料の発掘、関係者への聞き取り調査を行った。</li> </ul>

NO.5	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [保全活用方針の検討] 山手 124 番館
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史的建造物の保全改修の手法検討
担当理事・社員等  (*外部協力者)	水沼 淑子 (理事)  *山手 124 番館調査団
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜市中区山手町</li> <li>・ 平成 24 年 9 月に横浜市認定歴史的建造物となり、今後の保全活用工事に向けて保全活用の方向性を検討した。</li> </ul>

NO.6	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [保全活用方針の検討] 横浜海岸教会
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	改修計画の検討
担当理事・社員等  (*外部協力者)	堀 勇良 (理事) 吉田鋼市 (副会長)  *大岡山建築設計研究所
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保全活用検討会 (平成 24 年 4 月、8 月)</li> <li>・ 保全活用検討会において、保全活用計画の変更案の検討や改修工事に関する協議、調整が行われた。</li> </ul>

NO.7	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [保全活用方針の検討] 北仲北地区
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用倉庫の保全活用
担当理事・社員等  (*外部協力者)	関 和明 (理事) 吉田鋼市 (副会長)
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 24 年 12 月</li> <li>・ 横浜市中区北仲北地区</li> <li>・ 旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用倉庫の保全活用に関し、事業者と専門家を交えた意見交換を実施した。</li> </ul>

NO.8	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [保全活用方針の検討] 旧神奈川県産業組合館
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	建築所見の作成
担当理事・社員等 (※外部協力者)	吉田鋼市 (副会長)
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中区海岸通</li> <li>・ 歴史的建造物としての価値、都市景観上の価値の考察を行った。</li> </ul>

NO.9	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [保全活用方針の検討] 本牧公園転車台
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史的建造物の調査
担当理事・社員等 (※外部協力者)	堀 勇良 (理事) 米山 淳一 (常務理事)  小野田 滋 (鉄道総研)
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 25 年 3 月</li> <li>・ 中区 本牧市民公園</li> <li>・ 保全活用計画案の作成を目的に現地調査を実施。</li> <li>・ 転車台の製造時期の確定と整備方針、動態保存展示の可能性の方向性を提案した。</li> </ul>

NO.10	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [保全活用計画案の作成] 旧住友家俣野別邸
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史的建造物の保全活用計画案の作成
担当理事・社員等 (※外部協力者)	吉田剛市 (副会長)
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸塚区東俣野町</li> <li>・ 保全活用計画案を作成し、保全すべき部位等を計画案として示した。</li> </ul>

NO.11	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [保全活用計画案の作成] 旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用倉庫
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史的建造物の保全活用計画案の作成
担当理事・社員等 (※外部協力者)	吉田鋼市 (副会長)
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中区北仲通</li> <li>・ 保全活用計画案を作成し、保全すべき部位等を計画案として示した。</li> </ul>

NO.12	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [保全活用計画案の作成] 旧神奈川県産業組合館
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史的建造物の保全活用計画案 (当初案・変更案) の作成
担当理事・社員等 (※外部協力者)	吉田鋼市 (副会長)
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中区海岸通</li> <li>・ 保全活用計画案を作成し、保全すべき部位等を計画案として示した。</li> </ul>

NO.13	
事業名	歴史的建造物の保全に関する活用計画案策定業務 [保全活用計画案の作成] 旧神奈川労働基準局
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史的建造物の保全活用計画案の作成
担当理事・社員等 (※外部協力者)	吉田鋼市 (副会長)
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中区日本大通</li> <li>・ 保全活用計画案を作成し、保全すべき部位等を計画案として示した。</li> </ul>

NO.14	
事業名	歴史を生かしたまちづくりに関する制度検討業務
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	歴史を生かしたまちづくり制度の検討
担当理事・社員等  (*外部協力者)	吉田綱市 (副会長) 鈴木伸治 (理事) 内田青蔵 (社員) 米山淳一 (常務理事) *後藤 治 (工学院大学教授)
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、歴史的建造物の保全活用に関する現状及び課題の整理をおこない、新たな保全活用制度並びに市民協働による保全活用のしくみを検討した。</li> <li>・歴史を生かしたまちづくり制度見直しにむけ、現状及び課題の整理、制度検討のためのケーススタディ、新たな制度を踏まえたしくみの検討を行った。また、市民協働の仕組み等、ヨコハマヘリテイジ等民間の担う役割等を議論した。</li> <li>・検討にあたっては、「歴史を生かしたまちづくり推進のための制度検討研究会」を設置した。</li> </ul>

NO.15	
事業名	景観重要建造物モデル検討業務
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	認定歴史的建造物を景観重要建造物に指定する場合のモデル検討
担当理事・社員等  (*外部協力者)	*株式会社山手総合計画研究所
概要 [実施時期][場所]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史を生かしたまちづくり要綱」に基づく認定歴史的建造物を景観法に基づく景観重要建造物に新たに指定する場合について、認定歴史的建造物2件（横浜海岸教会・中澤高枝邸）をモデルとして検討を行った。</li> </ul>



## 2. 普及啓発事業

### (1) 自主事業

NO.16	
事業名	自主企画セミナーの実施 「鉄道開通 140 周年記念シンポジウム」
テーマ	横浜の鉄道と横浜駅
実施時期	平成 25 年 1 月 20 日 (日)
実施場所	講演会：はまぎんホール ヴィアマーレ 見学会：桜木町駅～横浜駅東口周辺
担当理事・社員等 (* 外部協力者)	* 青木祐介 (横浜都市発展記念館) * 小野田 滋 (公益財団法人鉄道総合技術研究所) * 梅澤厚也 (西区区政推進課) 堀 勇良 (理事) 米山淳一 (常務理事)
参加者／対象者	一般市民 参加者
概要	<p>平成 24 年は、新橋-横浜間に始めて鉄道が開通してから 140 周年にあたるため、「横浜の鉄道と横浜駅」をテーマに鉄道開通 140 周年記念イベントとして開催した。</p> <p>開催にあたっては、鉄道は西区の歴史を語る上で、欠かすことが出来ない重要な地域資源となっているということもあり、横浜市西区役所との共催事業として実施した。</p> <p><b>【午前の部】</b></p> <p>基 調 講 演 「横浜駅の歩み」青木祐介氏 (横浜都市発展記念館)</p> <p>パネルトーク「横浜の鉄道‘東海道‘の鉄道遺産探検</p> <p>パネリスト 小野田 滋 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)</p> <p>梅澤 厚也 (西区区政推進課)</p> <p>堀 勇良 (理事)</p> <p>コーディネーター 米山淳一 (常務理事) (</p> <p><b>【午後の部】</b></p> <p>見学会：旧東急東横線、京浜東北線、根岸線沿い (二代目横浜駅基礎遺構等)</p> <p>解説ポイントでは、小野田 滋氏が詳しい解説を行った。</p>

NO.17	
事業名	自主企画セミナーの実施 第2回コンサート in ヘリテイジ「ピアノが案内するヨコハマの歴史とまち」
テーマ	市民向けレクチャーコンサートの実施
実施時期	平成25年2月
実施場所	横浜市中区山手
担当理事・社員等 (*外部協力者)	米山淳一(常務理事) *後藤 泉(ピアノ) *長谷川正英(都市デザイン室) *株式会社三陽物産(賛助会員:菓子提供)
参加者/対象者	一般市民 参加者62名
概要	<p>横浜市認定歴史的建造物「ベーリックホール」で、横浜の歴史的建造物やまちの魅力を伝えるピアノコンサートを本年度も開催。</p> <p>横浜開港の頃の世界の音楽の潮流や、開港とともに日本に入って来た音楽、横浜のまちの歴史などを、また、会場のベーリックホールがスパニッシュスタイルであることを意識してスペインの曲も演奏された。</p> <p>また、横浜市緑の協会の格別の計らいで、「ミニ・パーティー」を演奏の合間に行い皆さんに好評でした。</p> <p>協力：横浜市都市整備局都市デザイン室、株式会社三陽物産(モンテローザ)</p> <p>〈出演〉 ピアニスト 後藤 泉 解説 長谷川 正英(横浜市都市整備局都市デザイン室) 司会 米山 淳一(一般社団法人横浜歴史資産調査会 常務理事)</p> <p>〈プログラム〉 ヨハン・シュトラウス2世 春の声 Op.410 ウエーバー 舞踏への勧誘 Op.65 モーツァルト ピアノソナタ イ長調 KY331「トルコ行進曲」</p> <p>==== 休憩 ==== (ミニ・パーティー)</p> <p>ドヴォルザーク ユーモレスク アルベニス 組曲「スペイン」より 第2曲 タンゴ ドビュッシー 版画 1. 塔、2. グラナダの夕暮れ 3. 雨の庭</p>

NO.18	
事業名	オープン・ヘリテイジ in 旧保土ヶ谷宿
テーマ	旧東海道「保土ヶ谷宿」の歴史的建造物の見学会
実施時期	平成 25 年 2 月
実施場所	横浜市保土ヶ谷区
担当理事・社員等 （*外部協力者）	-大野 敏（理事）、内山哲久（社員）、米山淳一（常務理事） -兼弘 彰、保土ヶ谷区役所
参加者／対象者	参加者 280 名
概要	

NO.19	
事業名	ホームページの運用
テーマ	会の組織、活動を紹介し、イベント案内や会員募集を行うためのホームページを随時更新する。
実施時期	平成24年4月～25年3月
実施場所	-
担当理事・社員等 (*外部協力者)	-米山淳一(常務理事) *有限会社アビーム4月～7月。マウント富士8月～平成25年3月
参加者/対象者	会員、一般市民
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー、イベント等の開催案内、終了後の報告記事を掲載。</li> <li>・入会申込やイベントの参加申込(問合せフォームを活用)等も、ホームページから受け付けている。</li> </ul>

NO.20	
事業名	刊行物の販売
テーマ	当会及び旧団体より引き継いだ書籍を、書店等で販売
実施時期	平成24年4月～25年3月
実施場所	有隣堂・神奈川県立歴史博物館・横浜都市発展記念館他
担当理事・社員等 (*外部協力者)	- -
参加者/対象者	会員・一般市民
概要	<p>販売実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の記憶－横浜の土木遺産 59冊</li> <li>・都市の記憶－横浜の主要歴史的建造物（第5版） 325冊</li> <li>・横濱新聞縮刷版【創刊号～第20号合本】 2冊</li> </ul>



(2) 受託事業

NO.21	
事業名	第 35 回歴史を生かしたまちづくりセミナー
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	講演会「日吉の近代建築」
実施時期	平成 24 年 12 月
実施場所	東京藝術大学馬車道校舎
担当理事・社員等  (* 外部協力者)	吉田鋼市 (副会長) 内山哲久 (社員) 米山淳一 (常務理事) * 渡部葉子 (慶応大学教授)
参加者/対象者	参加者 150 名 (一般市民 125 名、会員 25 名)
概要	横浜市認定歴史的建造物である日吉寄宿舍南寮の修復を終えたのを機会に講演会、フォーラムを開催した。 1. 講演「近代建築と日吉キャンパス」 吉田鋼市 (副会長) 講演「慶應義塾大学日吉寄宿舍 南寮のリノベーション」 (株)三菱地所設計 細見聡・森下昌司 2. フォーラム「近代建築の保全と活用の未来」 キーノート慶應義塾大学アートセンター准教授 都倉武之 進 行慶應義塾大学アートセンター教授 渡部葉子 パネリスト吉田鋼市、都倉武之、細見聡、森下昌司

NO.22	
事業名	「歴史を生かしたまちづくり横濱新聞第 27 号」編集協力
委託者	横浜市都市整備局都市デザイン室
テーマ	「歴史を生かしたまちづくり横濱新聞第 27 号」の編集協力
実施時期	平成 24 年 1 月～3 月 平成 24 年 3 月 26 日発行
実施場所	-
担当理事・社員等	大野 敏（理事） 米山淳一（常務理事）
（*外部協力者）	*コミュニティーデザイン・ラボ
参加者／対象者	関係施設に送付。希望者には、都市デザイン室等で頒布
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A2 二つ折り 4 色</li> <li>・ 発行数 4000 部</li> </ul> <p>1 面 よこはまの原風景へ誘う 新川家住宅主屋</p> <p>2 面 新川家住宅の茅葺屋根物語、横浜市認定歴史的建造物にフェリス女学院 6 号館、河合邸、旧神奈川県産業組合館の 3 件を認定。</p> <p>3 面 モダニズム建築の保全・活用と慶応日吉寄宿舍、関東大震災復興住宅、横浜市営外国人住宅、歴史を生かしたまちづくり新たな展開へ向けて</p> <p>4 面 歴史を生かしたまちづくりセミナー開催、一般社団法人横浜歴史資産調査会の取り組み他。</p>

### 3. 会員事業

NO. 23	
事業名	「ヨコハマヘリテイジサポートクラブ会員」の募集・管理
テーマ	・チラシ、ホームページ等での会員募集 ・会員情報の管理、会員証発行
実施時期	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
実施場所	－
担当理事・社員等 （*外部協力者）	－米山淳一（常務理事） －
参加者／対象者	会員
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー等の参加者に会員募集の案内を送付したほか、イベント等でPR。</li> <li>・会員申し込みは、ハガキ（リーフレット）、ホームページの申込フォーム、ファックス等で受付、申込者に対して会員規約と会費振込口座の案内を送付。入金を確認しだい、会員証のハガキを送付している。</li> <li>・会員にはイベント等の案内を一般公募に先駆けて案内、優先的に受け付けている。</li> </ul>

NO. 24	
事業名	会員向けメールマガジンの発行
テーマ	会員向けサービスの一環としてイベント情報の提供（会員優先募集等）、会員向けの連絡等をメールマガジンで行う。
実施時期	平成 23 年 4 月～24 年 3 月
実施場所	－
担当理事・社員等 （*外部協力者）	－ －
参加者／対象者	対象：メルマガ希望の会員、社員 メルマガ以外の会員にはハガキで案内
概要	14号から20号を発信した。 歴史セミナー、オープンヘリテイジ他の案内等



4. その他（地域伝統文化総合活性化事業 文化庁）

NO. 25	
事業名	平成 24 年度地域伝統文化総合活性化事業 横浜の近代建築資産の保全・活用によるまちの魅力づくり
委託者	文化庁（委託契約）
テーマ	横浜の近代建築資産の保全・活用によるまちの魅力づくり
実施時期	平成 24 年 7 月～25 年 3 月
実施場所	横浜市内（中区）
担当理事・社員等  （* 外部協力者）	宮村 忠（会長） 関 和明（理事） 堀 勇良（理事） 水沼淑子（理事） 内田青蔵（社員） 坂本勝比古（相談役） 西 和夫（相談役） 内山哲久（社員）、米山淳一（常務理事） 〈山手調査〉山手歴史文化研究会、よこはま洋館付き住宅を考える会、上村耕平、岩崎祝子 （人材育成）藤岡泰寛、兼弘 彰、嶋田昌子、内田美知留、小田島鉄朗他 （情報発信事業）鈴木智恵子、上村耕平
参加者／対象者	-
概要	<p>(1) 情報発信・人材育成事業</p> <p>① 情報発信事業 「山手の西洋館」パンフレットの作成 ・これまでの調査事業を通して得られた情報等をもとに、広く市民を対象としたパンフレット等を編集・発行した。（添付資料参照） タイトル:『山手の西洋館～外国人居留地の歴史的景観』 体裁:カラー A5判 24ページ 部数:1000 部</p> <p>② 人材育成事業 「近代建築資産を守る人材研修会〈ヘリテージセミナー〉(第3回)」 対象者:歴史的建造物に関心のある建築関係者、学生、歴史的建造物の所有者、管理者、行政職員等 ・1日目 開催日:平成 25 年2月 24 日(日)13:30-16:30 参加者数:39 名 テーマ(1)歴史的資産を守るとはどういうことか ―最近の例を通して考える 講師:西 和夫（神奈川大学名誉教授） テーマ(2)横浜市内の調査事例紹介 ―井上邸、y 邸― 講師:内田 青蔵（神奈川大学教授） テーマ(3)英国に学ぶまちづくりの思想 ―ナショナルトラスト・シビックトラストの活動から― 講師:米山 淳一(横浜歴史資産調査会常務理事)</p> <p>・2日目 開催日:平成 25 年 3 月 17 日(日)13:30-16:30 参加者数:49 名 テーマ 市内の活動事例報告 講師:ヨコハマ洋館探偵団(嶋田 昌子氏) 山手歴史文化研究会(白川 葉子氏) よこはま洋館付き住宅を考える会(兼弘 章氏) 神奈川建築士会スクランブル調査隊(内田 美知留氏) 港北ヘリテージ(小田嶋 鉄朗氏)</p>

(2) 普及啓発 「市民向け普及啓発セミナー「復興が転機となった横浜の近代建築」シリーズ」

・「復興が転機となった横浜の近代建築」をテーマに、震災・戦災を乗り越えた建物や、これらの復興で建設された建築・施設等の見学を含めたセミナーを2回シリーズで開催した。

対象者:テーマに関心のある市民

・第1回

開催日:平成24年9月8日(土)10:30-13:00

会場:吉田町ライブラリカフェ 参加者数:33名

テーマ『防火帯建築』の今

講師:藤岡 泰寛 氏(横浜国立大学准教授)

見学:関内周辺の「防火帯建築」

・第2回

開催日:平成24年12月16日(日)14:00-17:00

会場:神奈川県立図書館 参加者数:35名

横浜の戦後モダニズム建築

吉田 鋼市 氏(横浜国立大学)

見学:紅葉坂周辺の県立音楽堂、図書館、婦人会館など

(3) 記録作成 「山手地区近代建築資産現況調査」報告書作成

・3年間の山手地区を対象とした調査等の成果をとりまとめ、報告書を作成した。(添付資料参照)

(4) 調査研究 「近代建築資産の保存・活用事例調査」及び「近代建築資産活用方法検討委員会」

・これまで行って来た山手地区の近代建築等の保存・活用に関する調査資料や、既存の資料を、今後の研究や事業に活用できるよう、集約・整理を行った。

・調査に協力いただいた各活動団体や市民への調査結果報告会を行った。

・委員会 開催日:平成24年10月26日(金)14:00-16:00

会場:横浜歴史資産調査会事務局

出席者:委員5名(宮村、吉田、西、堀、内田、米山)、事務局

検討テーマ 各事業実施の進捗状況について

開催日:平成25年3月29日(金)10:30-12:00

会場:横浜歴史資産調査会事務局

出席者:委員5名(吉田、西、堀、大野、内田、米山)、事務局

検討テーマ 事業実施の報告および今後の取組について

・調査報告会

開催日:平成25年3月9日(土)10:30-12:00

会場:さくらワークス(横浜市中区) 参加者数:39名

報告者/関 和明(関東学院大学教授)、水沼淑子(関東学院大学教授)、白川葉子(山手歴史文化研究会)、岩崎詞子(横浜国立大学大学院)、上村 耕平、米山淳一(横浜歴史資産調査会常務理事)